

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:工学研究科・工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、複数配点方式を採用した新しい選抜方式によって入学した学生の追跡調査を行うなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>また、学内の共同研究講座・協働研究所の研究者との課題解決型学習を実施する体制を整えるとともに、海外研修によるグローバルな視点を有するリーダーとなる技術者・研究者の育成を図っているほか、エラスムス・ドコース（MAPNET）」でのダブル・デグリー授与制度の構築、e-learning英語教育を実施する学科（コース）数を増やして学部高学年時の英語教育にも注力するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、95件の国際会議の主催または共催による実施、専攻、研究科の枠を越えた横断的組織な研究活動（合計14件、新規2件）への財政的支援を行ったほか、テニュアトラック事業の実施に関して、3名のテニュアトラック教員を採用し、18名のテニュアトラック教員が在籍（平成26年2月1日現在）し、外部資金の獲得や各種賞の受賞などの成果を上げるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、「第6回共同研究講座シンポジウム」を開催し、他大学や独立行政法人の他、国・地方公共団体の行政機関や企業に、本学発の産学連携の取り組みである共同研究講座制度のノウハウを発信するほか、フロンティア研究棟（FRC）やフォトニクスセンター及びサステイナビリティ・オンサイト研究センターが産業界や他の研究機関との共同研究拠点として活用されており、これらの拠点で合計17件の共同研究を実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、競争的資金の獲得に向けて研究者を支援する為の戦略支援部を設置したほか、限りある資源を有効に活用し、教育と研究を強力に支援するため、事務業務の効率化を進め、更に効率化を図るため事務効率化推進室を立ち上げるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、積極的な国際会議の開催、新任研修会の実施、テニュアトラック事業の推進、共同研究講座の情報発信など、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>